

海域

ア 浜田川河口海域

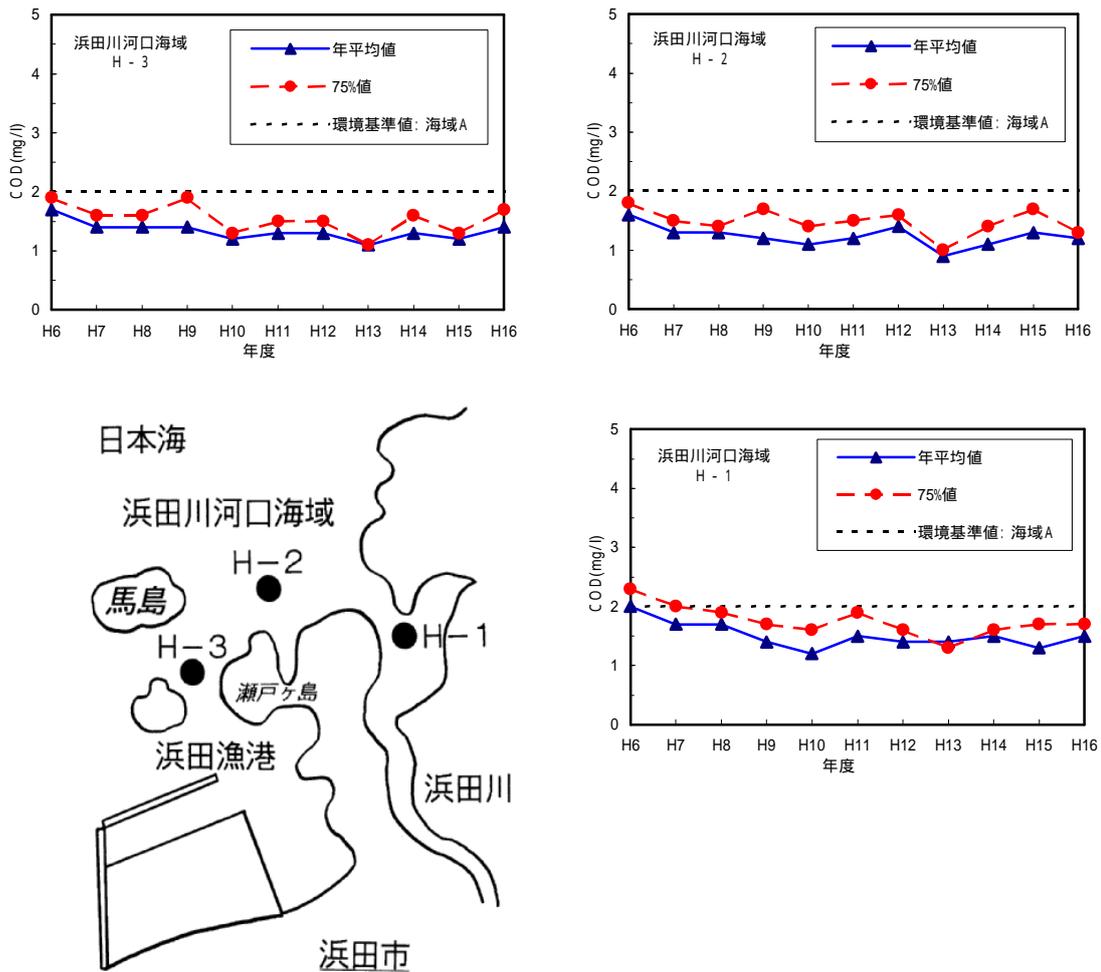
H - 1、2、3におけるCODの75%値はそれぞれ1.7、1.3、1.7 mg/lで、3地点ともA類型に適合し、環境基準を達成しました(図22、表3-2、表4-2)。過去5ヶ年の75%値平均値(1.6、1.4、1.4 mg/l)と比べると、H - 1、2はほぼ同じ値で、H - 3は高い値でした。平成6年度以降のCOD環境基準の達成状況を見ると、平成7年度以降継続して達成しています。

COD年平均値はH - 1では1.2~2.0mg/l、H - 2では0.9~1.6mg/l、H - 3では1.1~1.7mg/lで、全体として概ね良好な状況を維持しています。

この海域は浜田川を經由して、或いは直接に浜田市街地の生活排水、工場・事業場排水等の影響を受けるため、県は浜田川市内流域とともに平成4年3月30日に生活排水対策重点地域に指定し、浜田市では生活排水対策推進計画を定め、普及啓発事業等各種施策を進めています。

また、同河口海域に関連する集水域を対象に平成7年4月には工場・事業場排水対策として25 m³/日以上の上乗せ規制を行い、特定事業場排水の規制を強化しています。

図1-1-1 浜田川河口海域の環境基準点およびBODの経年変化



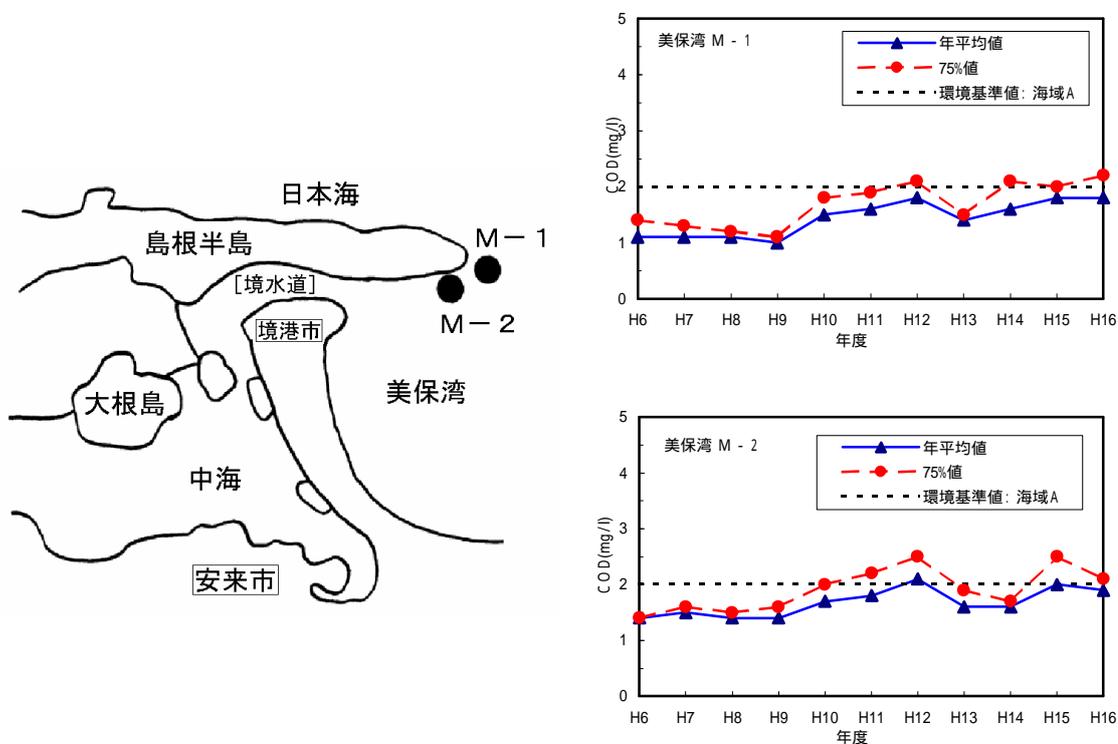
イ 美保湾

M - 1、2におけるCODの75%値はそれぞれ2.2、2.1 mg/lで、2地点ともA類型に適合せず、環境基準を達成しませんでした(図23、表3-2、表4-2)。過去5ヶ年の75%値平均値(1.9、2.2 mg/l)と比べると、M-1は高い値、M-2はほぼ同じ値でした。平成6年度以降のCOD環境基準の達成状況を見ると、平成11、12年度が未達成で13年度には達成しましたが、平成14年度以降は連続して達成していません。

COD年平均値は、平成6年度以降M-1及びM-2両地点とも概ね2mg/l以下(1.0~2.1mg/l)で推移しており、概ね横這いの良好な状況です。

美保湾は上乘せ排水規制や湖沼水質保全計画等で総合的な対策を進めている斐伊川、宍道湖及び中海からなる斐伊川水系の河口海域に位置しています。

図1-1-1 美保湾の環境基準点およびBODの経年変化



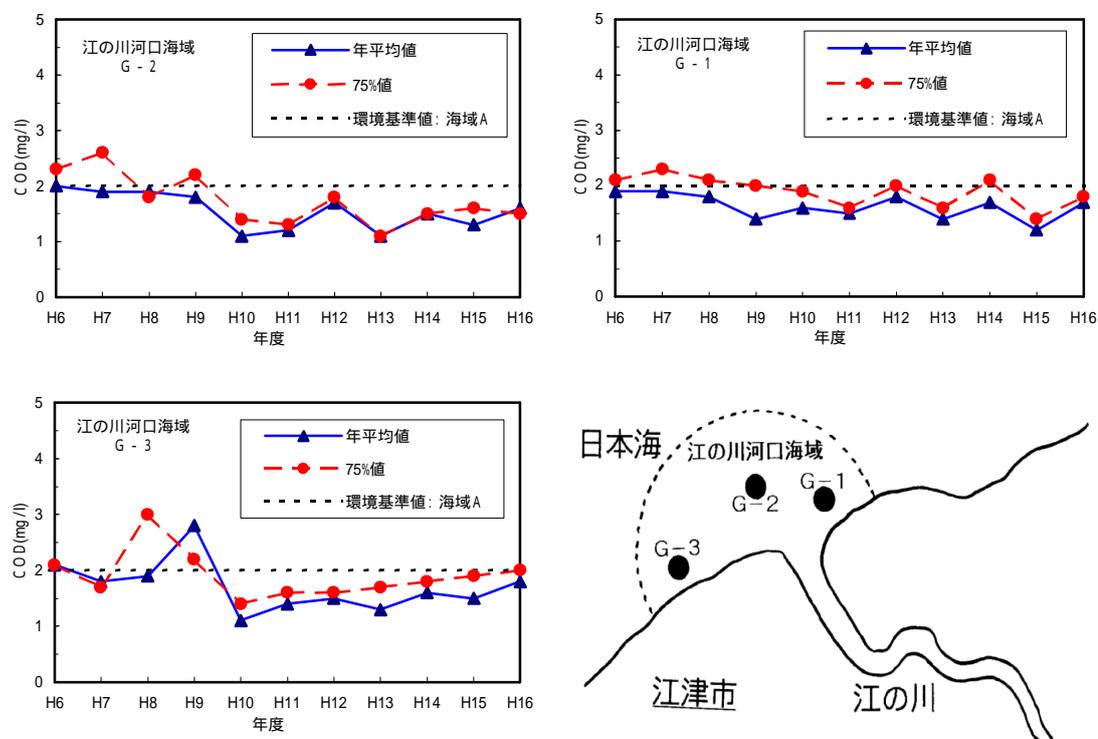
ウ 江の川河口海域

G - 1、2、3におけるCODの75%値はそれぞれ1.8、1.5、2.0 mg/lで、3地点ともA類型に適合し、環境基準を達成しました(図24、表3-2、表4-2)。過去5ヶ年の75%値平均値(1.7、1.5、1.7 mg/l)と比べると、G-1とG-2はほぼ同じ値で、G-3は高い値でした。平成6年度以降のCOD環境基準の達成状況を見ると、平成10年度から平成13年度まで連続して環境基準を達成していました。平成14年度は未達成でしたが平成15年度以降は環境基準を達成しています。

平成10年度以降のCOD年平均値は、3地点とも良好な値(1.1~1.8 mg/l)で推移しています。

この海域はほぼ江津港湾区域に位置し、江の川や河口周辺からの江津市街地の生活排水や工場・事業場排水等の影響を直接受けることもあります。

図1-1-1 江の川河口海域の環境基準点およびBODの経年変化



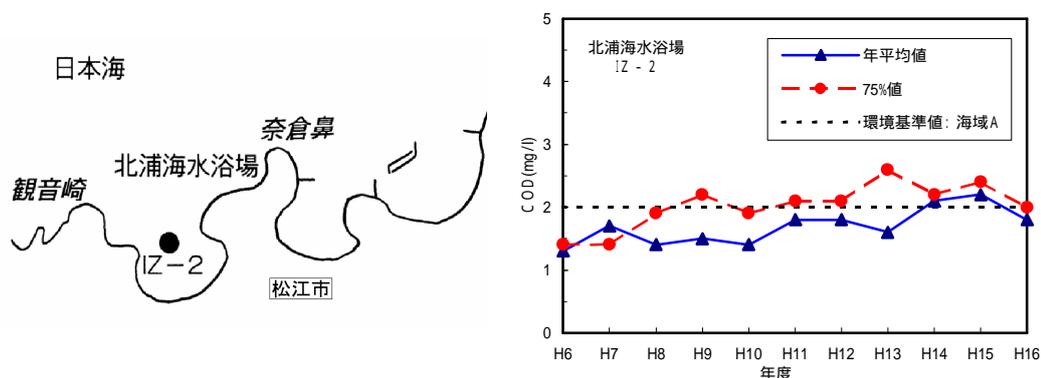
エ 北浦海水浴場水域

IZ-2におけるCODの75%値は2.0 mg/lで、A類型に適合し、環境基準を達成しました(図25、表3-2、表4-2)。過去5ヶ年の75%値平均値(2.3 mg/l)と比べると、低い値でした。平成6年度以降のCOD環境基準の達成状況を見ると、平成11年度以降環境基準を未達成でしたが平成16年度は達成しました。

COD年平均値は、平成6年度以降概ね2mg/l以下(1.3~2.2mg/l)を維持しており、良好です。

北浦海水浴場水域は千酌湾内に位置し中央に岩礁帯の岬をはさんだ砂浜海岸で、東側は一部稲積漁港区域と重なっています。

図1-1-1 北浦海水浴場水域の環境基準点およびBODの経年変化



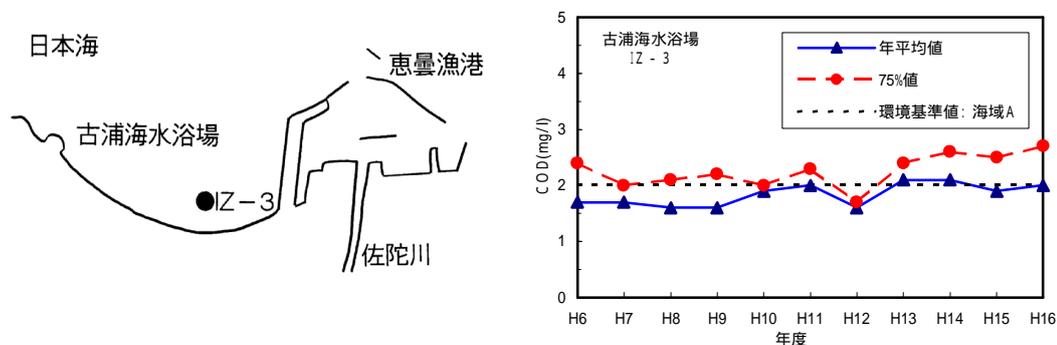
オ 古浦海水浴場水域

IZ-3におけるCODの75%値は2.7 mg/lで、A類型に適合せず、環境基準を達成しませんでした(図25、表3-2、表4-2)。過去5ヶ年の75%値平均値(2.3 mg/l)と比べると、高い値でした。平成6年度以降のCOD環境基準の達成状況を見ると、達成した年もあれば達成しなかった年もありますが、平成13年度以降は連続して達成していません。

COD年平均値は、平成6年度以降概ね2mg/l以下(1.6~2.1mg/l)を維持しており良好です。

古浦海水浴場水域は恵曇漁港区域内に位置する砂浜海岸です。

図1-1-1 古浦海水浴場水域の環境基準点およびBODの経年変化



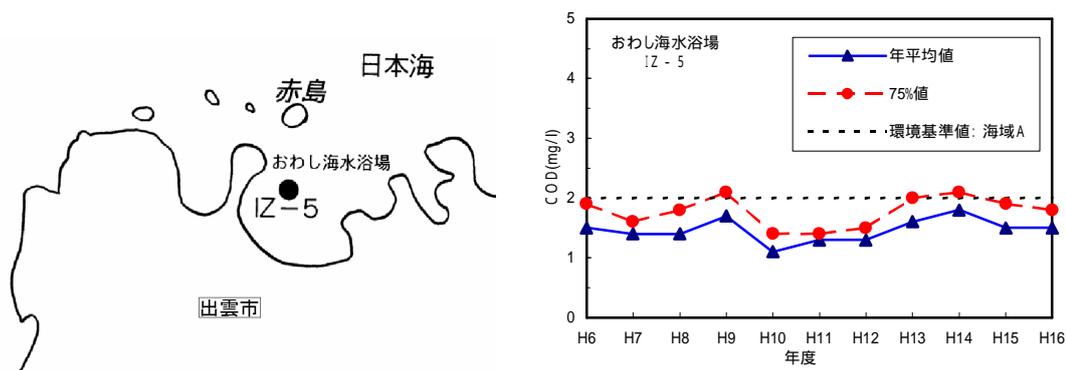
カ おわし海水浴場水域

I Z - 5 におけるCODの75%値は1.8 mg/l で、A 類型に適合し、環境基準を達成しました(図 25、表 3 - 2、表 4 - 2)。過去 5 ヶ年の 75% 値平均値(1.8 mg/l)と同じでした。平成 6 年度以降の COD 環境基準の達成状況を見ると、平成 9、14 年度を除き環境基準を達成しています。

また、年平均値は 2mg/l 未満(1.1~1.8mg/l) の良好な状態を維持しています。

おわし海水浴場水域は日御碕の東側の宇竜漁港区域内に位置し、中央部に岩礁帯の岬をはさんだ磯浜海岸で、後背地は主に自然地で、集落等の汚濁要因は少ないです。

図 1 - 1 - 1 おわし海水浴場水域の環境基準点および BOD の経年変化



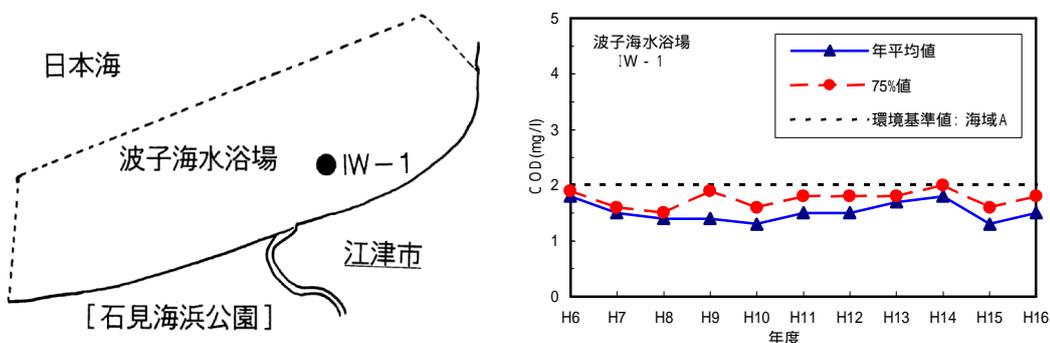
キ 波子海水浴場水域

I W - 1 におけるCODの75%値は1.8 mg/l で、A 類型に適合し、環境基準を達成しました(図 26、表 3 - 2、表 4 - 2)。過去 5 ヶ年の 75% 値平均値(1.8 mg/l)と同じでした。平成 6 年度以降の COD 環境基準の達成状況を見ると、全期間継続して環境基準を達成しています。

また、COD年平均値は 2mg/l 未満(1.3~1.8mg/l) の良好な状態を維持しています。

波子海水浴場水域は江津市と浜田市の両方に位置し、県立石見海浜公園として整備されつつある外洋に面した砂浜海岸で、中央に曲川、西側に久代川の流入小河川がある。後背地は一部の集落を除き主に自然地で、汚濁要因は少ないです。

図 1 - 1 - 1 波子海水浴場水域の環境基準点および BOD の経年変化



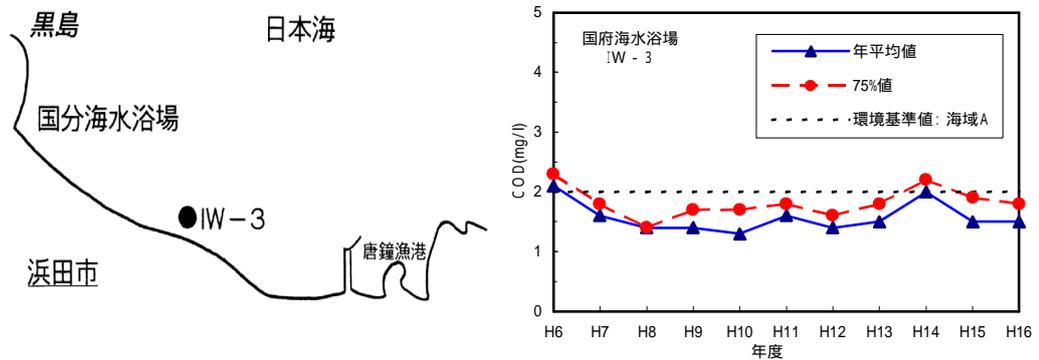
ク 国分海水浴場水域

IW - 3におけるCODの75%値は1.8 mg/lで、A類型に適合し、環境基準を達成しました(図)。過去5ヶ年の75%値平均値(1.9 mg/l)と比較するとほぼ同じ値でした。平成6年度以降のCOD環境基準の達成状況を見ると、平成6年度と平成14年度を除き環境基準を達成しています。

また、COD年平均値は平成6年度を除き2mg/l以下(1.3~2.0mg/l)の良好な状態を維持しています。

国分海水浴場水域は唐鐘漁港区域内に位置する外洋に面した砂浜海岸で、東側に小河川の唐鐘川が流入しているが、西側隣接水域の下府川からの流入影響を受けやすいです。

図1-1-1 国分海水浴場水域の環境基準点およびBODの経年変化



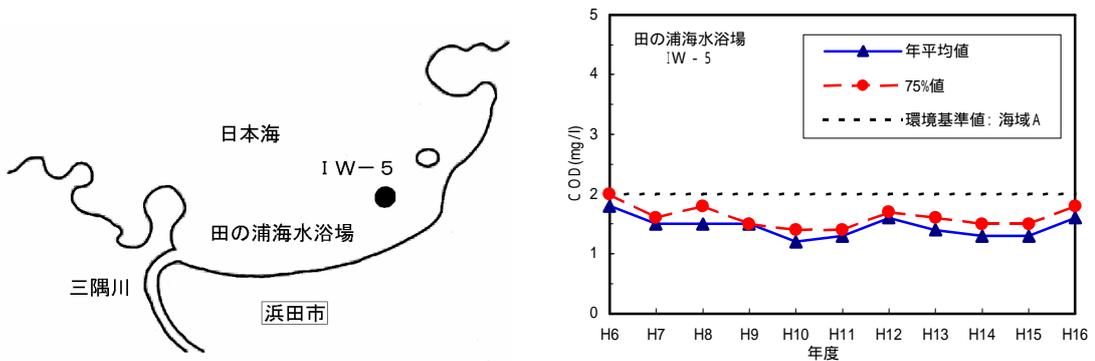
ケ 田の浦海水浴場水域

IW - 5におけるCODの75%値は1.8 mg/lで、A類型に適合し、環境基準を達成しました(図)。過去5ヶ年の75%値平均値(1.5 mg/l)と比較すると高い値でした。平成6年度以降の環境基準の達成状況を見ると、全期間継続して環境基準を達成しています。

また、COD年平均値は2mg/l未満(1.2~1.8mg/l)で、良好な状態で推移しています。

田の浦海水浴場水域は、三隅港湾区域内に位置するとともに、三隅川の河口海域に当たり、三隅川をはさんで外洋に面した東側の砂浜海岸と西側の岩礁帯からなり、東側には昭和58年7月の豪雨災害以降に三隅川の放水路が整備されています。

図1-1-1 田の浦海水浴場水域の環境基準点およびBODの経年変化



コ 持石海水浴場水域

IW - 7におけるCODの75%値は1.7 mg/lで、A類型に適合し、環境基準を達成しました(図26、表3 - 2、表4 - 2)。過去5ヶ年の75%値平均値(1.6 mg/l)と比較するとほぼ同じ値でした。平成6年度以降のCOD環境基準の達成状況を見ると、連続して達成しています。

また、COD年平均値は2mg/l未満(1.0~1.6mg/l)で、良好な状態を維持しています。

持石海水浴場水域は県西部の高津川の西側に位置し、一部の岩礁帯を除き外洋に面した砂浜海岸です。後背地は主に自然地で、集落等の汚濁要因は少ないです。

図1 - 1 - 1 持石海水浴場水域の環境基準点およびBODの経年変化

